

関東経産局×中部経産局×近畿経産局
J-クレジットオムニバスセミナー
DAY2【創出編】

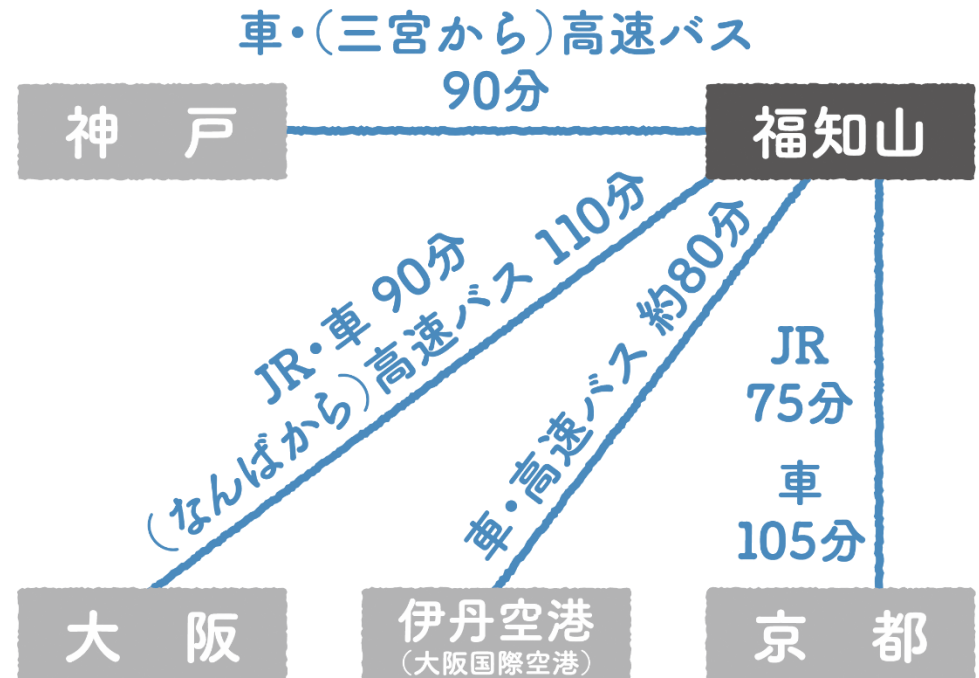
福知山市における 森林吸収系クレジットの 活用について



福知山市役所 産業部
エネルギー・環境戦略課 企画係
主事 元島 弘貴 (もとしま ひろき)

(0)はじめに 京都府福知山市の概要

福知山市



福知山城の電気は CO₂排出、 実質ゼロ！

お城で全国初！

再生可能エネルギー
100% 城

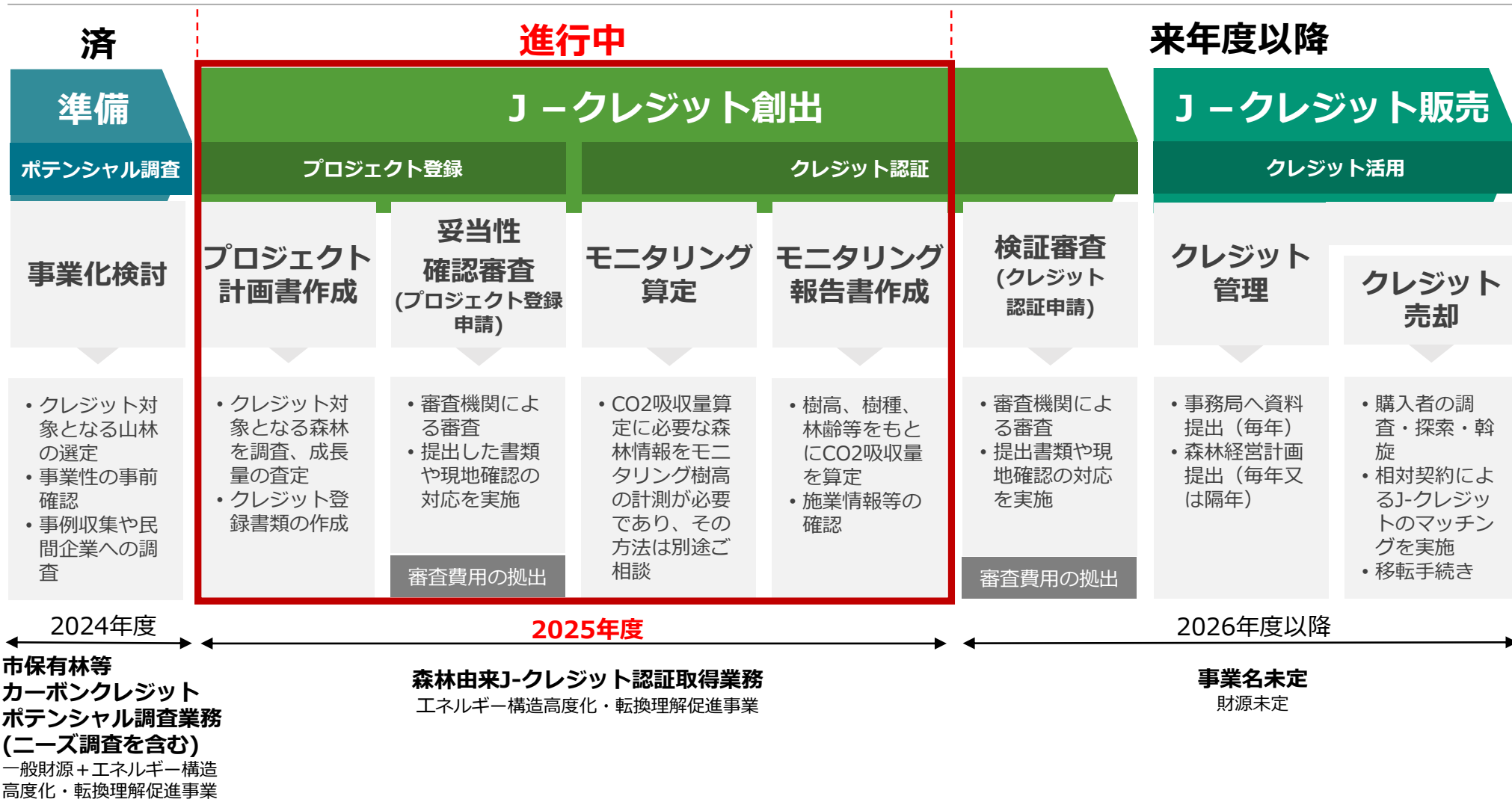
ライトアップを含め、再生可能エネルギー100%を常時使用している天守閣のある城は、福知山城が全国初になります。

(0)はじめに 福知山市の環境行政がめざすもの



(1)R7森林由来J-クレジット認証取得 事業の全体像

森林由来J-クレジット 認証取得までの流れ



(1)R6 市保有林等カーボンクレジット・ポテンシャル調査 本事業の特徴

- » 特徴：福知山市＋民間林業事業者２者(合計３者)の保有・管理する森林をまとめて申請
- » 森林吸収系J-クレジット創出対象森林面積：約470ha(3者合計の値。うち市保有林は約130ha。)
- » 人工林面積：約340ha(市保有林 約100ha)
- » 平成２年以降の施業実績のある人工林面積：約220ha(市保有林 約90ha)
- » この「約220ha」がJ-クレジット創出の基礎となる。

個別の申請ではなく、3者の森林経営活動をまとめて一括申請



- » FO-001『森林経営活動』の方法論の場合、創出量は「**創出基礎面積(ha)×5(t-CO₂)**」で試算可能
- » 本市における森林吸収系J-クレジット創出量の試算結果：**年間で3者合計1,100t-CO₂弱**
- » **8年間**のプロジェクトを想定しているため、**累計8,800t-CO₂程度**

ニーズ調査の流れ

関係性の深い事業者へのアンケート

脱炭素やSDGsの観点で当市と関係の深い企業等が購入すると想定

アンケート対象企業

- ✓ 長田野工業団地
- ✓ 長田野工業団地アネックス京都三和
- ✓ 福知山市SDGsパートナー登録企業
- ✓ 事業者排出量削減計画・報告・公表制度の対象となる事業者

上記主体に対してWEBアンケートを行い、
カーボン・クレジット活用の意向を調査

アンケート結果を踏まえた精査

アンケート結果を踏まえて、J-クレジットの活用可能性の高い企業を確認

精査における観点

- ✓ アンケート回答内容
 - ✓ 市内事業所の有無
 - ✓ 業種・業態
 - ✓ 事業規模
- 等

アンケート回答企業を
上記観点を優先順位付け

対面調査の実施

アンケート結果を踏まえて、J-クレジット購入意欲等を対面で確認

クレジット活用可能性の
高い事業者に対面調査

- ①アンケート調査 対象事業者：250者程度
②対面ヒアリング 対象事業者：10者程度



年500t-CO2以上の購入意欲を持つ
市内事業者を複数確認

(2)R6 カーボンのクレジット・ニーズ調査 アンケート調査の内容

I 基礎情報	1	部署名	
	2	担当者名	
	3	役職	①経営者・役員 ②部長クラス ③課長クラス ④係長クラス ⑤一般社員 ⑥その他
	4	電話	
	5	Mail	
II 貴社における CSRの取組について	1	社会貢献・環境配慮の取組について	①取組んでいる ②検討・準備している ③進め方が分からない ④取組む予定はない
	2	CSR関連の認知しているキーワードについて ※複数選択	①ESG ②SDGs ③カーボンニュートラル ④インパクト投資 ⑤環境経営
III カーボンニュートラル に向けた取組状況	1	「カーボンニュートラル」について	①知っている ②聞いたことがある(詳しく分からない) ③知らない
	2	(上記①②の場合)カーボンニュートラルに向けた取組について	①取組んでいる ②検討・準備している ③進め方が分からない ④取組む予定はない
	3	(上記①②の場合)取組み内容について(予定含む) ※複数選択	①CO2削減目標を設定 ②CO2排出量の見える化 ③再生可能エネルギー ④省エネ活動 ⑤その他()
	4	(上記①の場合)カーボンニュートラルの達成の見立てについて	①達成できる見込み ②達成が難しい
	5	ESG金融商品による資金調達について	①調達している ②検討している ③未定・分からない
IV カーボン・オフセット の取組状況	1	「カーボン・オフセット」について	①知っている ②聞いたことがある(詳しく分からない) ③知らない
	2	(IV-1において①②の場合)カーボン・オフセットの取組について	①取組んでいる ②検討・準備している ③興味はあるが進め方が分からない ④取組む予定はない
	3	(IV-2において①②の場合)購入予定の証書について ※複数選択	①J-クレジット ②ボランタリークレジット ③非化石証書 ④グリーン電力証書 ⑤オフセット商品毎の特徴・違いが分からない
	4	(IV-3において①の場合)購入予定のJ-クレジットの種類について ※複数選択	①削減系・省エネ系 ②吸収系(森林・農地) ③未定・分からない
	5	(IV-3において②の場合)ボランタリークレジットの種類について	①Verified Carbon Standard(VCS) ②Gold Standard(GS) ③Climate Action Reserve(CAR) ④American Carbon Registry(ACR) ⑤その他()
	6	(IV-3において①②の場合)クレジットの購入予定数量について	①～99t-CO2 ②100～499t-CO2 ③500t-CO2～
V 自治体様との 連携(協創)について	1	自治体様との連携による企業PRIに興味はありますか。	①興味がある ②話は聞いてみたい ③興味がない
	2	地域資源(森林・農地)の保全活動に興味はありますか。	①興味がある ②話は聞いてみたい ③興味がない
	3	自治体様から連携希望があった場合にご相談は可能ですか。	①可能 ②不可

【1 制度概要】

- ・J-クレジットとは、「CO₂等の温室効果ガスの排出削減や吸収量を取引が可能なクレジットとして発行する仕組み」である。

【2 創出方法】

- ・省エネ・再エネ設備を導入して温室効果ガスの排出量を減らす取組を行った場合や、森林管理等により吸収量を増やす取組を行った場合と比較して、取り組まなかった場合との差を国（経済産業省、環境省、農林水産省）が認証して価値化する。

【3 用途】

- ・認証されたクレジットは、東証市場を介した取引や相対取引により販売して売却益を得たり、事業所などが温室効果ガス排出量と相殺すること（カーボン・オフセット）などに活用できる。

【4 当市での取組】

- ・当市では、市保有林等を森林経営計画に沿って管理することによるCO₂吸収量を、クレジットとして価値化する取組を進めている。

福知山市マップ



ご清聴ありがとうございました！
京都へお越しの際は、ぜひ福知山にもどうぞ！